延焼を防止するための措置が講じられている

急速充電設備適合チェック表

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | | | 内　　容 | 状　況 | 適合 |
| 筐体 | | 材料 | 筐体は不燃の金属材料（ステンレス鋼板又は鋼板）であること。 | 材料  ［　　　　　］ |  |
| 板厚 | 板厚は、ステンレス鋼板で2.0㎜以上、鋼板で2.3㎜以上であること。 | 板厚  ［　　　　］㎜ |  |
| 機器 | | | 安全装置（漏電遮断器）が設置されていること。 | ［適・否］ |  |
| 筐体の体積１立方メートルに対する内蔵可燃物量（電装基板等の可燃物の量）が約122㎏以下であること。 | ［　　　　］㎏ |  |
| 蓄電池が内蔵されていないこと。 | ［適・否］ |  |
| 太陽光発電設備が接続されていないこと。 | ［適・否］ |  |
| 確認者 |  | | | | |

※１　延焼を防止するための措置が講じられているものであるか確認するためのチェック表です。

※２　「適合」欄には、適合している場合は「○」、不適合の場合は「×」、非該当の場合は「／」を記入してください。